

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・企業理念・経営方針を明文化し、全従業員と共有し、全社員大会を毎年1回開催している。 ・経営方針は年度毎に発行し、全従業員に周知徹底している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令順守の規定とマニュアルがあり、社内イントラネット及びファイルにて展開。コンプライアンス違反の他社事例等を展開・共有し、法令順守への意識を高めている。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、全従業員に向け、その重要性を発信している(CSR基本方針を策定し、HPIに掲載)。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・各部門毎に担当者、又は責任者(役員含む)を任命している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産の保護及び侵害について、その重要性を従業員に発信している。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報保護における体制を整備している。 ・情報漏洩事故に対する対応策を策定している。 ・プライバシーポリシーを策定しHPIに掲載している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・CSアンケートをもとにお客様の声を収集し、現場の改善につなげている。 ・取引先や行政と連携した取り組みを実施している(くまモン県プロジェクト、防災イベント等)。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・メーカー(トヨタ自動車)や関連会社と連携し、CO2排出量削減といった環境問題や働き方変革等の問題意識の共有をしている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●											9		11		13.1		16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・コンサルタントとともに後継者の指導・育成を実施中。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件および職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。 ・差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・毎月安全衛生委員会の実施により、健康管理啓発、危険箇所、危険作業等の確認を実施し、管理職教育や啓発活動を実施している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・有期雇用社員)に公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理徹底や、業務効率化による労働時間の短縮など働き方変革に取り組み、有給休暇などの取得奨励を実施している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・人材育成を軸にした人事評価制度の導入している。 ・階層別・職種別の研修を毎年開催している(社外講師・内製講師)。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・定期的に健康診断を実施。全社員にストレスチェックを継続実施している。 ・健康診断・予防接種の経費補助を行っている。 ・従業員及びその家族の健康維持向上に向けて各種部活動の活動も積極的に支援している。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・ウェブ会議システムを全店舗導入している。 ・感染者が出た場合の対応等についての規定を作成している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・クルマの査定にAIを導入し業務を効率化に取り組んでいる。 ・電子署名及び電子帳票保存の導入による効率化、紙削減に取り組んでいる。 ・人事労務システム、勤怠管理システムを導入し、業務の効率化、ペーパーレスの推進している。								8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる(板金塗装の塗料を100%水性化・油水分離槽を設置)。 ・整備工場の廃棄物(オイル類、パーツ等)の適切な処理を実施している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・各店舗、各部署の毎月の電気、ガソリンの使用量を把握し、削減に取り組んでいる。 ・全店舗ショールーム内をLED化している。 ・菊陽店には太陽光パネルを設置し節電に取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・電動車の積極推販している。 ・社用車はHVを中心に配置している。 ・全店舗の毎月の電気・ガス・ガソリンの使用量を把握し、CO2の削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる(板金塗装の塗料を100%水性化・油水分離槽を設置)。 ・整備工場の廃棄物(オイル類、パーツ等)の適切な処理を実施している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・バンパーやバッテリー、タイヤ等のごみの分別を徹底し、リサイクル業者へ回収を依頼するなど再資源化を促進している。 ・電子署名・電子帳票保存によるペーパーレス化を推進している。 ・再生用紙利用を推進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・全店舗・部署の毎月の水道代を管理し、削減に取り組んでいる。 ・有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる(板金塗装の塗料を100%水性化・油水分離槽を設置)。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・電動車をの積極推販している。 ・再生用紙利用を推進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・グリーンキャンペーンを49年間開催している。行政へ苗木を贈呈し、緑を増やす活動を継続している。累計37,100本程度の苗木を寄贈している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・全店舗ショールーム内をLED化している。 ・菊陽店に太陽光パネルを設置し、節電に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・品質情報を都度メーカーに提供し、もっといいクルマづくりへの情報を提供している。 ・メンテナンスパックを推奨し、クルマの定期的なメンテナンス(6ヶ月毎)をご案内している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・店舗新設・改修時にユニバーサルデザインを考慮している(多目的トイレの設置、段差の解消)。 ・安全衛生委員会を毎月開催し、必要な環境整備を検討している。									9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・地域の気軽な移動手段の提供に向けたシェアカー導入している。 ・身体の不自由な方へも移動の自由を提供するためのウェルキャブ車販売している(福祉車両)。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・15店舗ある強みを活かし、各地域の活動に参画するように奨励している。 ・交通遺児のための寄付を毎年実施している。 ・毎月1回、店舗周辺の美化活動を全従業員で実施している。 ・幼稚園・保育園の依頼を受けて交通安全教室を開催している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・給電可能な車両(HV・PHV)を各店舗の試乗車として設置している。 ・本社にはパワームーバー(電力供給装置)を1台設置している。 ・各店舗及び本社に保存水、非常食を備蓄している。				4							11.5		13.1		16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・給電可能な車両(HV・PHV)を各店舗の試乗車として設置している。 ・本社にはパワームーバー(電力供給装置)を1台設置している。 ・各店舗及び本社に保存水、非常食を備蓄している。 ・本店、菊陽店、天草店、山鹿店、八代店にAED設置している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1		16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・車中泊対応としてキャンピングカーを2021年4月から販売開始している。 ・クルマに常時置いておく「防災キット」を推販している。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	2021年4月から肥後銀行と連携してプロジェクトチームを立ち上げ、社員への教育、会社の課題整理、経営への組み込みを実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・高校生や大学生のインターンシップを積極的に受け入れている。 ・子供向けの親子職場体験も開催している(エンジニア体験)。				4				8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元の学生を積極的に雇用している。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17